

類別：機械器具 13 聴診器
一般医療機器 一般的名称：機械式聴診器 (JMDNコード：13755000)
ステレオフォネット No. 753 YAMASU

【禁忌・禁止】

- 絶対に分解、改造しないで下さい。
〔故障等の原因になります。〕
- イヤピースが耳管に装着されていない場合は、使用しないで下さい。
〔耳管のネジ部など金属部分で耳装着部を傷つける場合があります。〕

【形状・構造及び原理等】

本品は、チェストピース、チューブ、シャフト、リング、振動板、耳管、イヤピースからなる。

聴診器外観図



振動板面またはベル面から聴取された音は本体中心部に位置する2つの音道を通りシャフト、チューブ、耳管、イヤピースを通り両耳に送られる。

【使用目的、効能又は効果】

使用目的：体内音を聴き取る。

(注意) 正確に聴診をするためには、静かな場所で行なって下さい。

*** 【品目仕様等】**

全 長	73cm
重 量	150 g
チェストピース	アルミニウム φ3.8cm
ベルカバー	ネオプレンゴム
振 動 板	エポキシテトロン
耳 管	真鍮
チューブ	塩化ビニール
イヤピース	シリコンゴム、POM

【操作方法又は使用方法等】

- 耳孔に合ったイヤピースを選びます。
- イヤピースの穴に耳孔を合わせ聴診器の振動面又はベル面を聴きたい面に平行に合わせ静かに聴診する。
- イヤピースの着脱方法

●取り外す



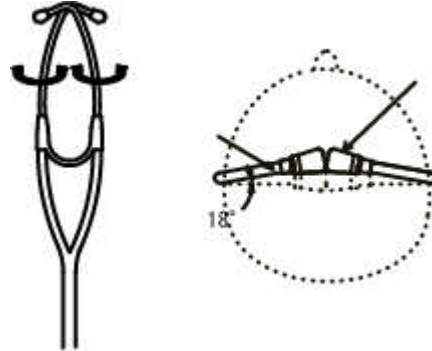
●取り付ける



4. 耳管の適正角度

耳管は下図のように回すことが出来ます。イヤピースの穴を耳肌で塞がないように耳孔の方向に合うように調節して下さい。

尚、耳管の標準的な角度は18度です。



5. 振動板面とベル面の切替方法

振動板面とベル面の切替はクリックを感じるまで回して下さい。

(ベル面)



(振動板面)

6. リングの着脱方法

リングを外す時は、シャフトに力を加えないで下さい。

振動板



7. 振動板の着脱方法

(取り外し方)

- ピンセットで振動板を外す。



(取り付け方)

- 中央の溝に平行に振動板の入り目をあわせ差し込む。



8. ベルカバーの着脱方法

(取り外し方)

- ベルカバーの端から少しづつ外して下さい。



(取り付け方)

- 中央を押さえベルカバーの端から少しづつはめ込んで下さい。



9. チューブの着脱方法

- シャフトに平行にチューブを移動させてください。



痛める

【使用上の注意】

1. 本品は聴診以外に使用しないで下さい。
2. チェストピース（振動板面、ベル面）を叩かないで下さい。
振動板を傷めたり又耳管を装着した場合は耳に障害をきたす
可能性があります。
3. 本品は聴診専用ですので、大きな音は絶対に聴かないで下さい。
4. 本品を振り回さないで下さい。物的損傷及び人に傷害を加えたりする
可能性があります。
5. チューブの材料（塩化ビニール）は皮脂等の影響で硬化が促進されます。
保管条件によっては1年間程度のご使用でチューブが硬くなることあり
ますので、ご使用後は付着物をよく拭き取ってください。

（各パーツの確認）

1. 性能を十分活用するためにリング、ベルカバー、イヤピースの取り付けが
緩んでいないか確認して下さい。緩んでいる場合は確実に装着して下さい。
2. 振動板、リング、イヤピース等に傷がある場合は使用しないで下さい。
3. 耳管、チューブ、イヤピースの音道の中に異物が入らないよう注意して
下さい。故障の原因になります。

（耳管）

1. 万一耳管バネが折れた場合、聴診上に不都合が生じたり、人体に傷害を加え
る可能性があります。
2. 耳管を無理に広げたり、握りつぶしたりしないで下さい。

【貯蔵、保管方法及び使用期間等】

1. 保管温度
-20～60℃
 2. 保管湿度
RH85%以下
 3. 保管状態
- 急激な温度変化のある所、極度に高温や低温になる所、湿度の高い所、
直射日光の当たる所、ほこりの多い所、化学薬品の保管場所やガスの発生
する所を避けて下さい。
 - チューブを折り曲げたまま長時間放置しないで下さい。チューブの寿命が
短くなります。

【包装】

1個/箱

【製造販売業者および製造業者の氏名または名称および住所】

（製造販売業者及び製造業者）

ケンツメディコ株式会社

〒367-0206

埼玉県本庄市児玉町共栄 552 番地 1

TEL 0495-71-1001 FAX 0495-72-6716

URL-<http://www.kenzmedico.co.jp>